

### 3. 特別会計

#### (1) 国民健康保険

(別紙資料編：別表1-1・別表10・別表11・別表11-2・別表11-3参照)

決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	対前年度比較 (R2対R元)	
					増減	増減率
予算現額		4,359,470,000	4,705,278,000	4,838,673,000	△345,808,000	△7.3
調定額		4,382,290,951	4,757,552,114	4,390,762,248	△375,261,163	△7.9
収入済額		4,302,323,010	4,666,546,590	4,297,760,399	△364,223,580	△7.8
不納欠損額		8,836,194	4,275,831	4,382,001	4,560,363	106.7
収入未済額		71,862,747	87,094,493	89,640,248	△15,231,746	△17.5
収入率		98.2	98.1	97.9	0.1	-
欠損率		0.2	0.1	0.1	0.1	-
未収率		1.6	1.8	2.0	△0.2	-
支出済額		4,261,272,411	4,623,290,807	4,791,878,473	△362,018,396	△7.8
執行率		97.7	98.3	99.0	△0.6	-
翌年度繰越額		0	0	0	0	0.0
不用額		98,197,589	81,987,193	46,794,527	16,210,396	19.8

歳入歳出決算状況は、予算現額4,359,470,000円に対し、収入済額4,302,323,010円（調定に対する収入率98.2%）、支出済額4,261,272,411円（執行率97.7%）で前年度と比較し、収入済額で364,223,580円（△7.8%）、支出済額で362,018,396円（△7.8%）共に減少している。

決算収支について、実質収支額は、41,050,599円の黒字となっている。

決算額の前年度と比較した主な増減状況を見ると、歳入では県支出金が60,953,947円（2.1%）、国民健康保険税16,622,921円（2.4%）等で増となっているが、繰入金500,104,398円（△49.5%）、等で減となり、歳入総額は364,223,580円（△7.8%）の減となっている。

歳出では、保険給付費91,143,433円（3.3%）、総務費42,170,357円（42.8%）等で増となっているが、前年度繰上充用金494,118,074円の皆減、諸支出金22,395,646円（△58.1%）等で減となり、歳出総額では、362,018,396円（△7.8%）の減となっている。

なお実質収支の黒字については、一般会計より157,770,000円繰入したことによる黒字となっている。

(2) 土地区画整理事業 (別紙資料編：別表1-2・別表12)

決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	対前年度比較 (R2対R元)	
					増 減	増減率
予 算 現 額		577,912,880	568,830,480	834,524,100	9,082,400	1.6
調 定 額		577,958,395	587,055,534	834,265,551	△ 9,097,139	△ 1.5
収 入 済 額		577,958,395	587,055,534	813,565,551	△ 9,097,139	△ 1.5
不 納 欠 損 額		0	0	0	0	0.0
収 入 未 済 額		0	0	20,700,000	0	0.0
収 入 率		100.0	100.0	97.5	0.0	-
欠 損 率		0.0	0.0	0.0	0.0	-
未 収 率		0.0	0.0	2.5	0.0	-
支 出 済 額		540,182,413	550,897,097	795,091,506	△ 10,714,684	△ 1.9
執 行 率		93.5	96.8	95.3	△ 3.3	-
翌年度繰越額		35,236,800	15,158,880	16,714,480	20,077,920	132.4
不 用 額		2,493,667	2,774,503	22,718,114	△ 280,836	△ 10.1

歳入歳出決算額は、予算現額577,912,880円に対し、収入済額577,958,395円（調定に対する収入率100.0%）、支出済額540,182,413円（執行率93.5%）で、前年度と比較し収入済額は、9,097,139円（△1.5%）の減、支出済額も10,714,684円（△1.9%）の減となっている。

決算収支について、実質収支額は、2,539,182円の黒字となっている。

決算額の前年度と比較した主な増減状況をみると、歳入では、保留地処分金86,000,000円で皆増となっているが、県支出金91,299,000円（△49.2%）、繰入金14,757,096円（△4.1%）等の減により、歳入総額9,097,139円（△1.5%）の減となっている。

歳出では、基金積立金106,479,089円（42,315.4%）等の増はあるが、土地区画整理事業費116,969,106円（△34.4%）、総務費3,372,581円（△21.9%）が減となり、歳出総額10,714,684円（△1.9%）の減となっている。

(3) 後期高齢者医療（別紙資料編：別表1-2・別表13参照）

決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	対前年度比較 (R2対R元)	
					増減	増減率
予算現額		327,978,000	315,861,000	297,062,000	12,117,000	3.8
調定額		329,615,362	316,716,110	299,576,649	12,899,252	4.1
収入済額		328,498,520	316,165,655	298,770,630	12,332,865	3.9
不納欠損額		34,603	73,024	0	△38,421	△52.6
収入未済額		1,223,152	1,773,604	1,154,096	△550,452	△31.0
収入率		99.7	99.8	99.7	△0.1	-
欠損率		0.0	0.0	0.0	0	-
未収率		0.4	0.6	0.4	△0.2	-
支出済額		326,551,829	313,480,953	296,348,716	13,070,876	4.2
執行率		99.6	99.2	99.8	0	-
翌年度繰越額		0	0	0	0	0.0
不用額		1,426,171	2,380,047	713,284	△953,876	△40.1

歳入歳出決算額は、予算現額327,978,000円に対し、収入済額328,498,520円（調定に対する収入率99.7%）、支出済額326,551,829円（執行率99.6%）で前年度と比較し収入済額が12,332,865円（3.9%）の増、支出済額が13,070,876円（4.2%）の増となっている。

決算収支について、実質収支額は、1,946,691円の黒字となっている。

決算額の前年度と比較した主な増減状況をみると、歳入では、繰入金4,821,000円（△6.6%）等の減はあるが、後期高齢者医療保険料15,560,496円（6.5%）、諸収入1,332,281円（532.3%）等の増があり、歳入総額12,332,865円（3.9%）の増となっている。

歳出では、総務費3,944,161円（△39.7%）の減はあるが、後期高齢者医療広域連合納付金15,704,556円（5.2%）の増により、歳出総額13,070,876円（4.2%）の増となっている。